

時間外労働と予防目的の歯科定期受診習慣との関連について



> 目的

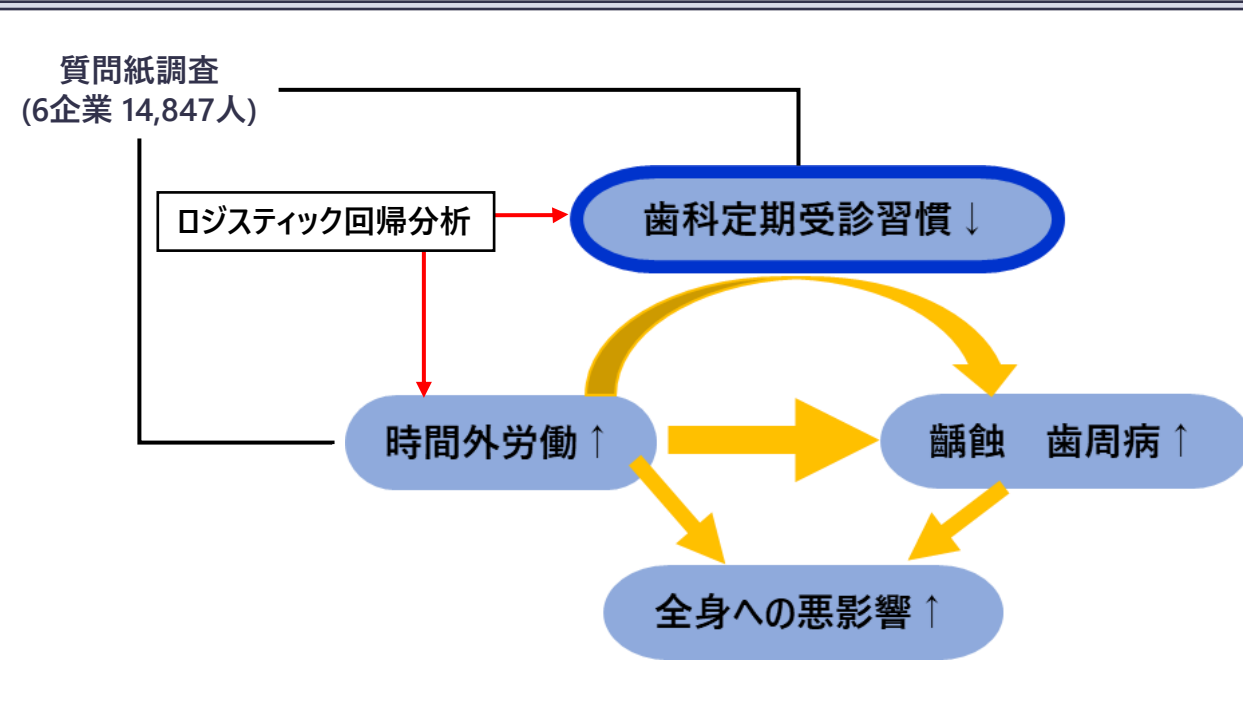
時間外労働が予防的な歯科受診に影響するかを男女別、年代別に明らかにすること。

> 方法

日本の6企業32,026人を対象とした。質問調査によって、「時間外労働(10時間単位)」と、で残業時間を聴取した。予防目的で歯科受診をしている頻度（3ヵ月に1回以上、6か月に1回程度、1年に1回程度、ときどき、全く）で聴取した。時間外労働時間なしと比較して、20時間以内、20-40時間、40時間以上の予防歯科受診のオッズ比をロジスティック回帰分析により評価した。

> 結果

調査参加者14,847人（女性3,668人、男性11,179人）を解析対象とした。3ヵ月に1回以上の受診の解析において、50歳代男性では時間外労働が長いほど受診していなかった。1年に1回程度の受診にの解析において、40歳代と50歳代の男性では時間外労働時間が長いほど受診していなかった。一方で、他の年代の男性、および女性では、そのような傾向を認めなかった。



年齢	時間外労働	3ヵ月に1回以上		1年に1回以上	
		男性	女性	男性	女性
≤29	なし	Reference	Reference	Reference	Reference
	20時間以内	0.62	1.63	1.56	1.24
	20-40時間	0.50	2.06	1.33	1.00
30-39	なし	Reference	Reference	Reference	Reference
	20時間以内	0.97	0.68	0.74	0.74
	20-40時間	0.71	0.96	0.73	0.63
40-49	なし	Reference	Reference	Reference	Reference
	20時間以内	0.91	0.74	0.76	0.77
	20-40時間	1.02	0.58	0.84	0.76
50-59	なし	Reference	Reference	Reference	Reference
	20時間以内	0.73	1.18	0.75	1.02
	20-40時間	0.75	1.06	0.76	0.89
	40時間以上	0.55	1.54	0.63	1.52

（結論）40歳以上の男性が残業時間が増えるにつれて予防歯科受診をしていない傾向があり、その集団に対する啓発に特に留意する必要がある。